

## Ⅳ 第3期町田市特別支援教育推進計画の主な取組

### 基本目標1 専門性の向上と学校支援の充実

#### (1) 教員研修等の充実

インクルーシブ教育システム構築のため、全ての教員は、特別支援教育に関する知識・技能を有していることが求められます。特に、発達障がいに関する知識・技能は、発達障がいの可能性のある児童生徒の多くが通常の学級に在籍していることから必須となります。そのため教員は、研修の受講等により特別支援教育に関する基礎的な知識・技能の向上を図る必要があります。また研修では、児童生徒一人ひとりの特性を理解し、児童生徒の主体的・対話的な深い学びを踏まえた指導法を取り入れた研修を実施します。

町田市の教員の状況を鑑みると、若手教員の占める割合が多く、教員の異動等による入れ替わりにより、計画的なOJTを通じた育成が難しい現状もあります。そのため、特別支援教育教員研修会については、それぞれの経験や理解度に応じた内容を設定し、現場での支援や実践へとつなげることができるようしていきます。また、それぞれの実践を共有することで、お互いに専門性を高め合い、指導力・支援力を向上していきます。

#### ① 知的障がい特別支援学級・サポートルーム教員研修（経験年数別研修）

知的障がい特別支援学級教員研修及びサポートルーム教員研修については、特別支援学級やサポートルームでの指導年数をもとに、3つのコース（ベーシック・アドバンス・マスター）を設定します。研修の実施形態や内容は、実情に合わせて検討し、集合型やオンライン形式で実施します。

- ベーシックコース** 指導経験1年目の教員を対象  
 特別支援教育の理念や知的障がい、発達障がい等の障がい特性、アセスメントや指導方法、保護者との連携について、基礎的・基本的なことを学ぶ内容です。
- アドバンスコース** 指導経験2年以上の教員を対象  
 特別支援教育に関する基礎的・基本的な知識・指導の理解と実践ができている教員に対し、実践力を高めていく内容です。
- マスターコース** 指導経験が豊富な主任またはそれに準ずる教員を対象  
 これまでの知識や経験の蓄積を踏まえ、現状の課題を把握し、改善や改善策を提案したり、力量をつけるための研鑽に励んでいたりする教員に、特別支援学級やサポートルームの学級経営や人材育成を意識して、特別支援教育のより深い理解を目指す内容となっています。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
コース別 研修の実施	3コース× 4回実施	3コース× 4回実施	3コース× 4回実施	3コース× 4回実施	3コース× 4回実施	3コース× 4回実施
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           研修内容・方法の検討及び改善            </div>				
			見直し			見直し

②自閉症・情緒障がい特別支援学級教員研修

町田市立小・中学校は、自閉症・情緒障がい特別支援学級を小学校6校、中学校1校設置しています(2023年度時点)。在籍する児童生徒が増加している傾向であり、今後自閉症・情緒障がい特別支援学級を増設する予定です。自閉症・情緒障がい特別支援学級担当教員の教科指導はもちろん、自立活動の指導技術等、専門性の向上のため、授業研修などの実践的な研修を実施していきます。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
研修の実施	オンデマンド研修 2回 集合研修 1回	オンデマンド研修 1回 集合研修 1回 授業研修 2回	オンデマンド研修 1回 集合研修 1回 授業研修 2回	オンデマンド研修 1回 集合研修 1回 授業研修 2回	オンデマンド研修 1回 集合研修 1回 授業研修 2回	オンデマンド研修 1回 集合研修 1回 授業研修 2回
						

※授業研修は、授業後に協議会を合わせた研修として実施

③肢体不自由特別支援学級教員研修

町田市立小・中学校は、肢体不自由特別支援学級を小学校1校、中学校1校設置しています(2023年度時点)。都立町田の丘学園の肢体不自由部門教員との連携を図り、各設置校にて研修を実施し、教員の専門性を高めていきます。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
研修の実施	各校1回 実施	各校1回 実施	各校1回 実施	各校1回 実施	各校1回 実施	各校1回 実施
						

④特別支援教育コーディネーター研修

特別支援教育コーディネーターは、学校内の関係者と外部の関係機関との連絡調整役、保護者に対する相談窓口、担任への支援、校内委員会の運営や推進役といった役割を担っており、個々の専門性の向上や育成は非常に重要となっています。そこで、研修を計画的に実施するとともに、「特別支援教育コーディネーターの手引き」を作成し、各校の特別支援教育を推進していきます。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
研修の実施	5回実施	5回実施	5回実施	5回実施	5回実施	5回実施
コーディネーターの手引き作成	—	作成	研修会や学校で活用	研修会や学校で活用	研修会や学校で活用見直し	研修会や学校で活用見直し

⑤特別支援教室専門員研修

特別支援教室専門員は、町田市立小・中学校におけるサポートルーム運営にかかる業務として、連絡調整、児童生徒の授業観察及び指導記録の作成・報告、個別の課題に応じた教材作製等を行います。サポートルームの円滑な運営に向けて特別支援教室専門員の研修会を計画的に実施していきます。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
研修の実施	3回実施	3回実施	3回実施	3回実施	3回実施	3回実施

(2) 授業リーダー育成事業

町田市の全ての教員が、特別支援教育に関する必要な知識とスキルを身に付けていくために、具体的な手だてと配慮が位置付けられた実践的な授業を通して、自身の授業改善につなげる環境づくりを整えていきます。そのために、町田市内で特別支援教育のモデルとなる授業を展開できる教員を発掘及び育成し、「町田市特別支援教育授業リーダー」に指名します。町田市特別支援教育授業リーダー自身の専門性の向上のみにとどまらず、授業公開や教員研修会での実践発表等を通じて成果を共有し、他の教員の授業改善につなげていきます。

<参考>

【主な募集枠】

- ① 小・中学校 サポートルーム教員
- ② 小・中学校 特別支援学級（知的、自閉症・情緒）教員
- ③ 小・中学校 通常の学級担任・教科担任

【授業公開】

- 1 学 期：町田市特別支援教育授業リーダー内で授業公開を行う。
- 2・3学期：学期毎に1回ずつ市内全教員向けの授業公開を行う。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
授業リーダー育成事業の受講教員数	70人	100人	100人	100人	100人	100人
授業リーダーの指定 延べ人数	小・中学校 教員7名指名 延べ28名	小・中学校 教員6名程度指名 34名	小・中学校 教員6名程度指名 40名	小・中学校 教員6名程度指名 46名	小・中学校 教員6名程度指名 52名	小・中学校 教員6名程度指名 58名
授業公開 実践発表の実施	複数回実施	複数回実施	複数回実施	複数回実施	複数回実施	複数回実施

### (3) 町田市特別支援教育ハンドブック（学級種別ごと）の作成と活用

町田市立小・中学校の全ての教員が特別支援教育の基礎的・基本的な知識の習得や専門性の向上を目指し、2020年度に「特別支援教育ハンドブック」を作成し、市内小・中学校全ての教員に配布しました。

今後は、子どもへのアンケートに基づいて、授業の工夫や日々の対応において、実践的に活用できるよう、「通常の学級向け」、「特別支援学級向け」、「通級指導学級向け」と対象教員を明確にした特別支援教育ハンドブックを作成します。そして一人ひとりの児童生徒に対して適切な支援を行うために、全ての教員が実践力の向上を図ります。

また、町田市特別支援教育ハンドブックを活用した校内研修や自己研鑽が円滑に実施できるよう、研修動画や校内研修用資料の作成、データの共有などを行います。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
ハンドブックの作成	通常の学級向け ハンドブック作成	特別支援学級向け ハンドブック作成	通級指導学級向け ハンドブック作成	3種別作成配布		見直し検討
ハンドブックの活用	各学校での活用	活用リーフレット配布				活用状況確認
		オンデマンド研修実施 教員研修会での活用	オンデマンド研修実施 教員研修会での活用	オンデマンド研修実施 教員研修会での活用	オンデマンド研修実施 教員研修会での活用	オンデマンド研修実施 教員研修会での活用

### (4) 特別支援教育推進モデル校の実践

町田市立小・中学校すべての学校において特別支援教育の一層の充実を図る必要があります。そのために、自校の特別支援教育における課題を明確にし、研究開発を通じて課題解決を図る取組を行う「町田市特別支援教育推進モデル校」を指定し、研究内容を他校に広げることで、特別支援教育の質的向上を目指していきます。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
推進モデル校の指定及び研究発表の実施	発表	1校指定 研究→発表	1校指定 研究→発表	1校指定 研究→発表	1校指定 研究→発表	
	1校指定 研究→発表					

## (5) 特別支援教育充実に向けたアウトリーチ支援

町田市教育センターでは、各学校の特別支援教育の充実に向けて、学校からの申し出に応じて以下のアウトリーチ事業を実施していきます。

### ①特別支援教育専門家チーム事業

複数の特別支援教育専門家チーム専門員が学校を訪問し、児童生徒への望ましい教育的対応（該当児童生徒の発達障がいの状況や課題に関する意見や判断、必要な支援・配慮等を踏まえた学習指導や生活指導の具体策等）について、複数の角度から、特別支援教育の視点で専門的な助言を行います。

### ②巡回相談事業

教育センターに所属する巡回相談員を派遣し、小学校の通常の学級に在籍する配慮を要する児童の観察及び助言を行います。

### ③発達支援ルーム

現在、学級の中には、学習活動や意欲につまずきがありながら、課題が改善されないままの児童が少なからずいます。中でも、視覚をはじめとした基礎感覚が未発達なために、学習の基礎を身に付けることが困難な児童が近年は目立ってきています。このような児童に対して、できるだけ早く、見立てと個別の学びの機会を与えるとともに、学級担任と連携した指導、保護者への助言や協力要請を進める必要があります。発達支援ルームは、現在、通常の学級に在籍し、通級などの特別な学びの場で学習をしていない児童を対象とし、教育センター担当者が学校を訪問し、ビジョントレーニングや感覚統合運動を行い、学習の土台を築くとともに、学習意欲と自己肯定感を高めることをねらいとしています。また、児童の成長だけでなく、保護者の協力体制のもと、適正就学につなげたり、該当児童に対する必要な支援内容を明確にしたりすることにもつながります。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
特別支援教育専門家チーム 巡回指導員派遣 発達支援ルーム	希望校に派遣	希望校に派遣				
		評価				
	評価		見直し			見直し

## (6) 特別支援教育支援員の配置・新規開設の特別支援学級への増員

特別支援教育支援員は、小・中学校に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒に対し、教員の補助者として、2018年度からは小・中学校全校に配置しています。特別支援教育支援員は、特別支援学級や通常の学級に在籍している児童生徒への支援、安全への配慮などを行います。

今後も特別支援教育支援員を継続して全小中学校に配置するとともに、新規開設した特別支援学級に対して、特別支援教育支援員を増員して配置し、安定した学級運営を目指します。

また、特別支援教育支援員の支援力向上に向けて、研修を実施していきます。

### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
配置人数	126名	(増員) 128名	128名	(増員) 130名	130名	(増員) 132名
研修の実施	1回実施	1回実施	2回実施	2回実施	3回実施	3回実施
						

### 【コラム】

#### マルチメディアデイジー教科書の活用について

マルチメディアデイジー教科書は、公益財団法人日本リハビリテーション協会が提供する音声教材です。通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロ（同期）させて読むことができるものです。ユーザーは音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵をみることもできます。

学校には「読むこと」に困難を抱えている児童生徒が在籍しています。「読むこと」に困難を抱えている児童・生徒にとっては、通常の教科書を用いて学習をすることは大変難しく、学習意欲の低下や学習の遅れにつながることを考えられます。

障害者差別解消法（2013年）により、障がいのある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎的環境の整備が学校においても求められるようになりました。

2021年度から町田市立小・中学校において、GIGAスクール構想を受けた1人1台端末の環境が整備されたことでマルチメディアデイジー教科書活用の素地が作られた状況といえます。

町田市においても、「読み」等に困難がある児童生徒が、申請の上、活用しています。

(1) 就学・進学相談会の充実

特別支援教育における学びの場の検討を行う就学・進学相談会は、相談数が増加傾向にあります。より充実した相談会にするために、構成員である就学相談委員や保護者の方から意見を募り、運営方法を見直し改善を図ります。

また、相談会を経て実際に就学・進学をした児童生徒の実態を学校訪問等で把握し、相談会の在り方について検証を行い、改善します。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
保護者及び就学相談委員向けアンケート実施	検討	検討	保護者及び就学相談委員向けアンケート実施	相談会の検証・改善		
就学・進学後の実態把握	検討	学校訪問・実態把握		相談会の検証・改善		

(2) 情報提供の充実

特別支援教育について、保護者への理解を促進するため、ホームページでの動画や資料の掲載、各種案内リーフレット等で情報提供の充実を図るとともに、保護者が必要な情報を入手できるように、提供方法等についても検討を行います。

また、小・中学校向けに、「町田市版就学相談の手引き」を作成し、各種相談会の申し込み手続き等について周知します。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
ホームページに動画・資料を掲載	ホームページに動画・資料を掲載	見直し検討	動画・資料の改訂	見直し検討	動画・資料の改訂	見直し検討
案内リーフレット配布	案内リーフレット配布		リーフレットの改訂		リーフレットの改訂	
「就学相談の手引き」の作成	資料収集・手引きの原案作成	「就学相談の手引き」配布	修正・改訂	「就学相談の手引き」配布	修正・改訂	「就学相談の手引き」配布

### (3) 保護者に対する意識調査の実施

特別支援学級、通級指導学級(サポートルームを含む)を利用している児童生徒の保護者を対象に、本市の小学校や中学校で行われている特別支援教育についての、意識調査を実施します。実情を把握し、より良い支援の在り方や今後の方向性を検討し、改善につなげていきます。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
特別支援学級向け調査実施	内容検討	アンケート調査実施	周知・改善策提案			アンケート調査実施
通級指導学級等向け調査実施	—	内容検討	アンケート調査実施	周知・改善策提案		アンケート調査実施
利用に満足している保護者の割合	—	【目標値】 70.0%			【目標値】 80.0%	

### (4) 教育相談の充実

町田市教育センターの教育相談では、市内の年長から18歳までの子どもについて、教育上の課題に関する相談に応じています。相談の対象となるのは、子ども本人とその保護者の他、学校や保育園・幼稚園関係者も含まれます。

相談の内容については、不登校、いじめ、発達障がい、集団不適應、友人関係、学習に関すること、生活面に関すること等となっています。

相談形態は以下の2つがあります。どちらも、心理学を専門とする相談員が対応しています。

#### ア 来所相談

教育センターに来所して行う相談です。

平日月～金曜日と第1、3土曜日の8時30分から17時まで開室しています。保護者からの申し込みが必要で、完全予約制となっています。

来所者のニーズや状態に応じて、継続的な面談やプレイセラピーを行ったり、より適切な機関をご紹介したりします。

子どもの状態を正確にアセスメントする必要がある場合には、WISC知能検査等を行い、子どもの特性や支援方法について、保護者にフィードバックをします。また、保護者から希望があった際には、学校との連携も行っています。

#### イ 電話相談

来所での相談が難しい場合、専用番号による電話での相談を行っています。保護者のみに限らず、子ども本人や関係者からの相談も受けています。月・水・金曜日の9時から12時までと13時から16時まで開設しており、予約は不要です。継続的な相談はできませんが、匿名での相談も受けることができます。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
WISC V 知能検査の導入	導入準備	WISC V 知能検査の研修実施	WISC V 知能検査の実施			
			見直し・検討・継続研修			

## 基本目標3

## 教育環境の充実

### (1) 特別支援学級及びサポートルーム拠点校の整備

在籍児童生徒数の推移を注視し、新たな学校づくりによる統合も見据え、特別支援学級やサポートルーム拠点校の整備を進めていきます。また、知的障がい特別支援学級及び自閉症・情緒障がい特別支援学級は、全小学校への設置を目指し、新たな学校づくりにおける学校の建替え時に、整備を行います。

#### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
特別支援学級新設	新設準備	小山中学校 知的障がい 学級新設	検討・準備	新設	検討・準備	新設
設置校累計	39校	40校	40校	41校	41校	42校
サポートルーム 拠点校 見直し	検討	検討	拠点校の巡 回先の再編	検討	検討	拠点校の巡 回先の再編

### (2) 新たな学校づくりにおける特別支援学級及び通級指導学級等の整備

2025年度から始まる特別支援学級や通級指導学級の統合及び移転に対して、児童生徒や保護者の方の負担が少しでも軽減できるように準備や整備を行います。

#### 【本町田地区統合スケジュール】

地区名	対象校	2023	2024	2025	2026	2027	2028	
本町田	本町田東小	既存校舎					新校舎	
		通級指導学級(言語・難聴・弱視)		移転	(新校舎建設)			知的学級 情緒学級
	本町田小	既存校舎			移転先:本町田小以外			
		知的学級		情緒学級				
	町田第三小	既存校舎						

#### 【本町田地区・工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
本町田東小 通級指導学級 移転	移転準備	移転準備	通級指導学級移転			
本町田東小・本町田小・町田第三小の統合	統合準備	統合準備	統合		移転準備	移転・町田第三小統合 移転統合
			本町田ひなた小開校・統合			

【南成瀬地区統合スケジュール】

地区名	対象校	2023	2024	2025	2026	2027	2028
南成瀬	南第二小	既存校舎					新校舎
		知的学級			(新校舎建設)		知的学級
	既存校舎	移転				移転	情緒学級 (新設)
	南成瀬小				知的学級		

【南成瀬地区・工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
南第二小・南成瀬小の統合	統合・移転準備	統合・移転準備	統合		移転準備 新設準備	移転・新設
			成瀬小開校・統合			移転 新設

【鶴川地区統合スケジュール】

地区名	対象校	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
鶴川西	鶴川第四小	既存校舎						新校舎
		知的学級	情緒学級		(新校舎建設)		知的学級	
	既存校舎		移転			移転	情緒学級	
	鶴川第三小				知的学級	情緒学級		

【鶴川地区・工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
鶴川第四小・鶴川第三小の統合		統合・移転準備	統合・移転準備	移転・統合		移転準備
			鶴川中央小開校・統合			

### (1) 特別支援教育に関する相談窓口の連携

教育センターでは、就学相談、教育相談、教育支援センター、特別支援教育に関する相談窓口があります。

現在、子どもを取り巻く状況や課題は、複雑化・多様化しています。必要に応じて関係する窓口や機関の対応ができるように、保護者の方の同意のもとに情報共有を行うなど、教育センター内での連携をはじめ、子ども発達センターや障がい福祉課、子ども家庭支援センターなどとの連携の強化を図ります。

【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
相談窓口の連携	各種相談の実施	教育センターの連携 検証・強化			他課との連携検証・強化		検証

### (2) 都立特別支援学校との連携

特別支援学校は、特別支援教育について高い専門性があり、地域の小・中学校等を支援するセンター的機能を有しています。センター的機能には、小・中学校教員への支援、特別支援教育に関する相談・情報提供、障がいのある児童生徒への指導・支援等があります。そして、学校間連携による教育的支援の他、福祉、医療、労働等の関係機関との連携も行い、障がいのある幼児・児童・生徒のライフステージに応じた適切な支援を目的として、地域性や専門性を生かした「エリア・ネットワーク」の整備を行っています。

町田市では、都立町田の丘学園を特別支援学校のセンター校として、交流教育や研修協力等を行っています。今後も都立特別支援学校との連携強化を図り、特別支援教育の理解が深まるよう取り組んでいきます。

#### ①副籍交流

副籍とは、都立特別支援学校の児童生徒が、地域の市立小・中学校に副次的な籍を置く制度です。副籍制度の副籍交流では、市立小・中学校と特別支援学校の児童生徒同士が直接交流もしくは間接交流を通じて、お互いの理解を深め合う活動を行います。

#### <町田市における副籍交流の人数>

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
副籍交流実施者	205人	206人	208人	209人
うち直接交流実施者	70人	44人	39人	39人

## ②交流教育連絡会（学校間交流会）

町田市立小・中学校と都立町田の丘学園の児童生徒が、お互いを理解し、ともに活動する機会を設定した交流教育連絡会を行っています。現在小・中学校の3校を実施し、特別支援学級の設置されていない学校は、2年ごとに輪番で実施します。交流活動を通じて特別支援教育の理解を深めるよう取組みます。

### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
交流連絡会の実施	3校実施	2校実施 運営方法の見直し	3校実施	3校実施	3校実施	3校実施 運営方法の見直し

## ③小・中学校教員等への支援について

センター的機能を生かして、小・中学校の教員に対して行う教育センターの研修協力依頼や、情報交換などの連絡会を開催しています。専門的な立場から障がいのある児童生徒への具体的な支援についての助言及び相談など、連携の強化を図ります。

### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
研修協力依頼・連携強化	実施	実施 連携方法等 の見直し	実施	実施	実施	実施 連携方法 の見直し

## （3）切れ目のない支援を行うための関係機関との連携

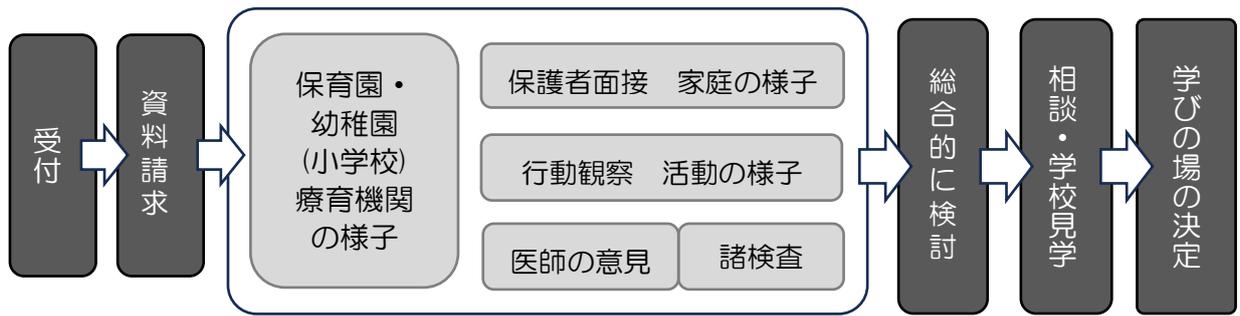
### ①小学校（中学校）入学前

#### ○就学（進学）相談会

就学前に、特別な支援を必要とする子どもについて、一人ひとりの特性に合わせた学びの場を保護者と特別支援にかかわる専門家がともに考える就学相談を行っています。保護者の方に町田市の特別支援教育についてご理解いただき、保護者の同意のもとで、幼稚園や保育園（または小学校）、子ども発達センター等と日ごろの様子や支援方法等について情報を共有します。

相談会では、「保護者の面接」「行動観察」「諸検査」「医師の診察（「肢体」「難聴」の会等で実施）」等を行い、事前に収集した資料をもとに、就学相談委員が就学後の学びの場を総合的に検討します。収集・作成した資料は、就学先の小学校（中学校）へ引継ぎし活用します。

【学びの場が決定するまでの相談の流れ】

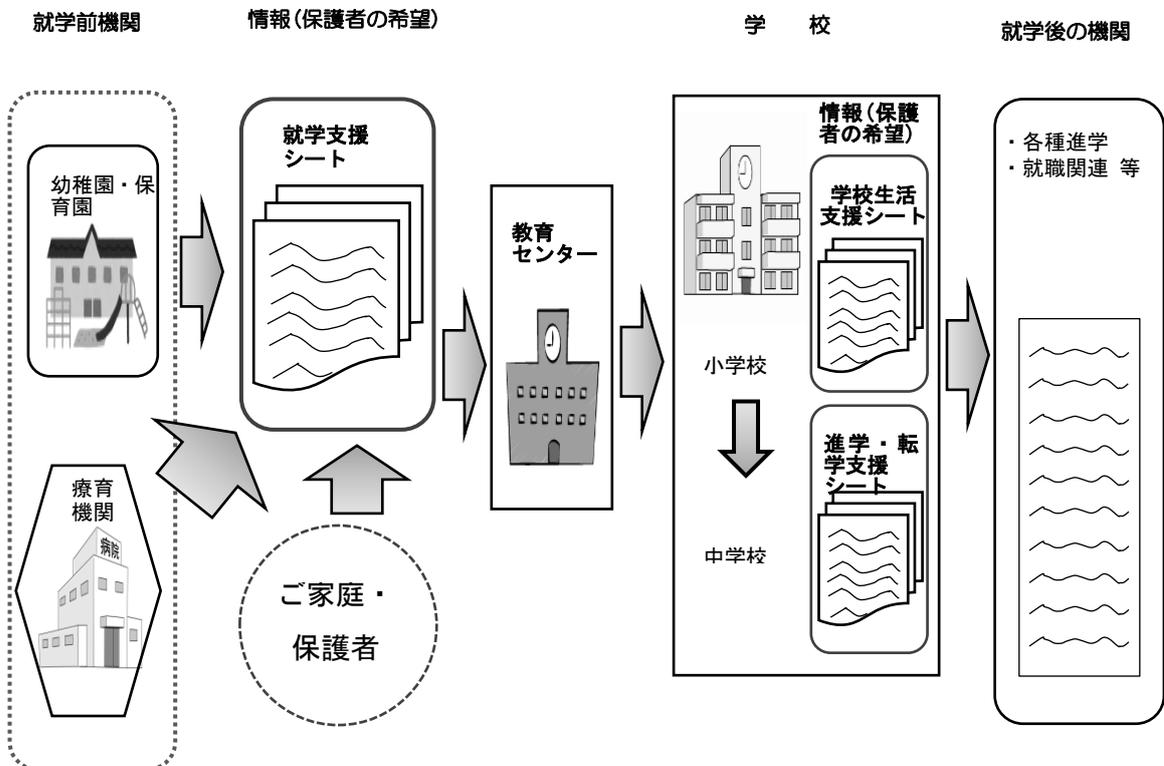


【就学相談委員】小中学校管理職、小中学校教員、特別支援学校教員、幼稚園・保育園の園長、子ども発達センター職員、心理士、教育センター職員、医師等から構成

○就学支援シート

小学校入学を控えた子どもの個に応じた支援や配慮等について、切れ目のない支援を適切に行うことができるように、幼稚園・保育園・療育機関などと保護者が協力して作成し、就学先の小学校へ引継ぐためのシートです。

町田市内及び近隣市の幼稚園・保育園の年長園児の家庭に対し、園を通じて教育センターからこのシートを配布しています。幼稚園や保育園及び療育機関や家庭などから、大切にしてきたことや小学校に引き継ぎたいことを記入した後、園を通じて教育センターに提出し、教育センターから各小学校に送付しています。



## ○町田市立小学校と幼稚園・保育園・子ども発達センター等との連携

町田市の幼稚園・保育園・子ども発達センター等と就学先の小学校が、特別な支援を必要とする児童についての引継ぎの機会を確保するために、集合形式による連絡会を実施します。連絡会では切れ目のない支援をできるように就学支援シートを通じて情報を共有します。

### 【工程表】

取組内容	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
集合形式による連絡会の実施	実施	実施 運営方法の見直し	実施	実施	実施	実施 運営方法の見直し

## ②小学校・中学校入学後

### ○校内委員会

町田市立小・中学校では、支援が必要な児童生徒の実態把握や、支援方法等を検討するため、校内委員会を設置しています。委員会は、管理職、特別支援教育コーディネーターを中心として、学級担任、養護教諭などから構成されています。児童生徒への効果的な指導や対応に向けて、その子どもの問題や課題を共有し、学校全体で連携して支援を行います。また、特別支援学級への転籍や各通級（サポートルーム等）への入級の必要性の検討も行います。

### ○学校生活支援シート

町田市立小・中学校で特別支援学級やサポートルーム等に在籍している児童生徒について、本人や保護者の希望を踏まえて教育、保健・医療、福祉等が連携して、学校卒業まで、一貫性のある支援を行っていくためのツールとなっています。児童生徒を支援していく長期計画で、作成や活用は保護者の了解のもとに行い、本人に対する支援に関する必要な情報を記載します。

### ○進学・転学支援シート

小学校から中学校へ進学する際、または現在通学している学校から転学する際に、通学している学校における子どもの様子や指導の工夫を引継ぎ、進学・転学後の学校生活を適切なものにしていくために作成するシートです。

特別な教育的支援が必要な児童生徒で進学・転学先も引き続き支援が必要であると考えられる児童に対し、保護者の同意のもとに作成して引継ぎを行います。

### ○町田市立小学校と中学校の連携

町田市立小学校と進学先の中学校が、特別な支援を必要とする児童についての情報交換等を行い、切れ目のない支援ができるよう連携します。

## 子ども発達センター

### ○子ども発達センターとは

町田市にお住まいの0歳から18歳未満の障がいや発達に心配のある子どもを対象に、専門的な助言や療育を行い、他の支援機関と連携を図りながら、その子どもや家族を支え、発達支援を行います。

### ○療育記録ノートについて

入園・入学時に、これまでの支援や配慮してほしいこと等が途切れることなく引継がれるように、子どもの成長と療育内容等を保護者が記録し、関係機関と共有できるノートを配布します。

### <参考 相談内容について>

○発達相談ではお子さんの発達について心配なことがある際に相談します。保護者の方のお話を聞き、お子さんの様子を見させていただきながら、必要な支援の手立てを一緒に考えていきます。(対象：お子さんの発達に心配のある方)

○障がい児相談支援・計画相談支援では、障害児支援利用計画等の作成を行います。(対象：障がい児通所支援サービス等の利用を希望される18歳未満のお子さん及びその保護者)